

中野区教育委員会 殿

学校名 中野区立第二中学校
校長名 松田 芳明 公印

令和3年度教育課程について（届）

このことについて、中野区立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおり、お届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

中野区教育ビジョン、中野区教育委員会の教育目標の精神に基づき、生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、将来の変化を予測することが困難な時代に、自らの人生を切り拓き、生涯を生き抜く力を子供たちに培っていく。

〔自律、尊重、創造、挑戦〕

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ○自ら考え、判断し、行動する生徒の育成 | ○違いを理解し、他者を尊重する生徒の育成 |
| ○豊かな発想をもち、創意工夫する生徒の育成 | ○変革やチャレンジをし続ける生徒の育成 |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「二中を世界に誇れる学校にしよう」を合い言葉に、生徒が母校として誇れる特色ある学校を目指し、教職員の組織体制を整え、カリキュラム・マネジメントを行うことで教育活動を充実し、一人ひとりの良さや可能性を伸ばす学びの場を提供する。

〔生命尊重と人権尊重の精神を基盤とした教育〕

ア 特別支援学級設置校としての特性を生かし、交流活動や協働的な活動を通じて互いのよさを認め合い、共に支え合いながら生きる力と一人ひとりの人権を大切にする心を育てる。

〔社会に開かれた教育課程〕

イ 子どもたちが未来社会を切り拓くために必要な資質・能力について、保護者や地域への共通理解を図るとともに、学区の保育園、幼稚園、小学校との連携・協働活動（幼児との触れ合い活動、乗り入れ指導、オープンキャンパス、小中連携教育協議会等）を充実し、校区の子どもたちの成長をすべての発達段階で支える基盤を創り上げていく。

ウ キャリア教育や国際理解教育、E S D（持続可能な開発のための教育）、平和教育、環境教育等に取り組む際、企業やNPO等と連携した教育活動を行い、グローバル社会を主体的に生き抜く力を育成する。

〔学習機会と学力の保障〕

エ G I G A（Global and Innovation Gateway for All）スクール構想の下、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、指導と評価が一体となるよう、授業改善を一層推進する。その際、英語科・数学科における少人数・習熟度別指導を中心に、個別最適化された学びの実現を図る。

オ 2学期制により授業時数を確保するとともに、長期休業期間等を活かし、生徒自身が個々の苦手分野を解消する機会（補充学習の実施、任期付短時間勤務教員の有効活用）や発展的学習につなげる機会を確保し、学びに向かう力・人間性等を醸成する。

カ 小学校との合同研修や協働した取組により、数学・英語を中心に学力調査の結果を向上させる。

キ 総合的な学習の時間においては、自ら課題を設定し、解決を図るべく探究する学習活動を設定し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力やコミュニケーション能力を意図的・計画的に育成する。

〔社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障〕

ク 道徳教育の充実やボランティア活動、体験活動の推進によって、社会の一員としての自覚を高め、自己肯定感・自己有用感及び自尊感情を高めるとともに、生徒一人ひとりが自己実現を図り、集団の中に自分の居場所を実感できる取組を通じて豊かな人間性や社会性を育む。

〔安全・安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障〕

ケ 教育相談体制等の充実を図り、生徒一人ひとりを温かく見守るとともに、問題行動やいじめ、不登校等の未然防止と早期対応に努める。また、関係諸機関との迅速な連携に努めるとともに、校外の機関で学習する生徒との心の繋がりを重視し、家庭との連絡等も密に行う。

コ コロナ禍において、感染症対策や教育活動の見直しに取り組むだけでなく、自らの健康を保持・増進しようとする生徒を育てるために、委員会活動や保健指導、さらには学校保健委員会等を通じて、健康教育活動の充実を図る。